

sewing
lesson
mini
book



CONTENTS

LESSON

1

はじめにそろえたい基本の道具・・・P1

縫い針・刺しゅう針/糸切りハサミ/手縫い糸/待ち針
ピンクッション/チャコペン/布切りはさみ/指ぬき
しつけ糸/アップリケ用糸/ステッチ糸/刺しゅう糸
スレダー/目打ち/ヒモ通し/定規

LESSON

2

手縫いの基本・・・P7

●玉結び・玉止め・仮止め・しつけ縫い●縫い始めから
縫い終わりの(針に糸を通す・スレダーを使う・縫い始め・
縫い終わりの)●基本の縫い方(並縫い・本返し縫い・
半返し縫い)●裁ち端と縫い代の始末(かがり縫い・
プランケットステッチ・ピンキングハサミ・縫い代を割る・
片返しにする)●アイロンについて●縫い代を折る
●返し口をとじる・縫い代をまつる(巻きかがり・
コの字とじ・まつり縫い)

LESSON

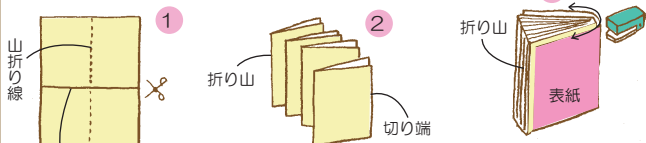
3

飾りステッチ・・・P16

●ステッチ糸MOCOの紹介
●印をつける●いろいろなステッチ(ランニングS・
バックS・ストレートS・アウトラインS・
プランケットS・クロスS・チェーンS・
レザーデージーS・フレンチノットS・サテンS)



この本のとじかた



1 6枚すべてを中央の太線に沿ってカットする

2 カットした12枚をすべて山折り線で折る

3 表紙以外の11枚を順番にまとめ、図のように切り端側を覆うように表紙をつけてホッチキスで3箇所留める



はじめにそろえたい 基本の用具

LESSON

1

これだけあれば大丈夫！はじめにそろえておきたい用具とソーイングを楽しくスピーディにしてくれるあると便利な用具をご紹介します。



☆ 写真の「ソーイングセット」はフジックスHPのネットショッピング(糸屋さん)より購入できます。

セット内容：
手縫い糸(シャッペスパン)2個、ステッチ糸(モコ)1個、ハサミ、プリキ缶
針セットカード(手縫い針3本、刺しゅう針2本、毛糸とじ針1本、スレダー1個)、
マチ針10本(ガラス瓶付き)



厚手や硬い布地で針の通りがよいときなどに、中指にはめて針を押しこまうもの。<縫い糸のとき>と、一々に縫い進めるときにも使用する。

指ぬき



布を切る専用のはさみ。切れ味が大きく、耐久性に優れたものを選びたい。耐久性に優れたものを選びたい。布以外のものを切ると切れ味が劣る原因になるので注意。

布切りはさみ



縫う前に仮止めするための針。頭の形や素材は様々。ガラス玉のものはアロソノの糸にも適さないで扱いやすくおススメ。

待ち針



どんな素材にも使えるシャッパンスパンがおすすめ。しなやかで丈夫、糸通りがスムーズで糸割れが少なく、手縫い専用糸。

手縫い糸



印に便利なアーカーターズ、水で消えるものや自然に消えるもの、色も種類があるので用途に合わせて選びたい。

チャコペン



針を刺してストックしておくクッション。手作りするときはさび止めに削った口を縫って一緒に縫って詰めることが多い。

クッション



糸を切る専用のハサミ。先が尖っているので細かい部分の糸切りに重宝。糸以外のものを切ると切れ味が劣る原因になるので注意。

糸切りハサミ



糸の太さや布地の厚さなどに応じて種類を選び、針セットなどを用意しておくことが便利。

縫い針・刺しゅう針

しつけ糸

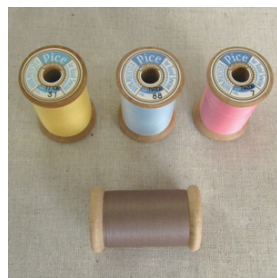
仮止めするときを使う。切れやすくやわらかい。色は白の他に色ものもある。



アップリケ用糸

Pice (ピセ)

手縫い糸シャッパンスパンより細いので、アップリケに使うと糸が目立たずきれいに仕上がる。



ステッチ糸

MOCO (モコ)

ふっくら、モコモコした質感がかわいい手縫い糸。針はフランス刺しゅう針3番を使用。



刺しゅう糸

Soie et (ソワエ)

光沢が美しい、シルクのステッチ糸。針はフランス刺しゅう針5番を使用。



あると便利な道具

スレダー

糸を針に簡単に通すことのできる便利な道具。糸通しに時間がかかることもなく作業がスムーズ。



目打ち

表に返したときの角を整える・穴を開ける・糸をほどくなど、様々な用途に使える。先が尖っているものと丸いものがある。



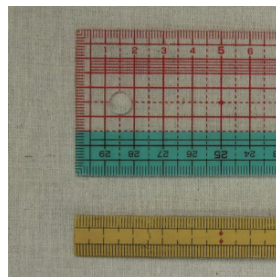
ヒモ通し

ヒモを通すときに使う。毛糸とじ針は針先が丸いので、太目の糸を刺し通したりヒモ通しの代用としても使える。



定規

縫い代をつけるときに便利な方眼定規、縫い代を折ったり作業中ちょっと寸法を測るときには細くて短い定規が便利。



返しめ

返しめは、仮に固定をすること、仮止めのみでもしっかりと固定され、ずれにくい。また、針も邪魔にならない。「しつけをかける」ともいう。返しめ同様、仮に固定をすること、返しめのみでもしっかりと固定され、ずれにくい。また、針も邪魔にならない。「しつけをかける」ともいう。

縫い合わせる時や、縫い付けるときに、印の位置に合わせて、仮に固定をすること。縫い目に対して垂直に待ち針を打ち。

しつけ縫い

しつけ縫いは、待ち針を打ち、縫い目に対して垂直に待ち針を打ち、縫い合わせる時や、縫い付けるときに、印の位置に合わせて、仮に固定をすること。縫い目に対して垂直に待ち針を打ち。

2 LESSON 手縫いの基本

レシーさんご安心！
玉結び～並縫い～しつけ～まちの縫い代の始末など基礎の基礎から応用まで、しっかりと手縫いの基本をマスターしましょう。

玉結び

- 1 糸端を人差し指に置き、上から針で刺し、糸を巻く。
- 2 針先を糸を巻く。
- 3 巻いた糸を押し、糸を引抜く。

※締め針に糸を通しておきます

玉止め

- 1 糸を2～3回巻き、結まないうち、縫い終わりに糸を導ける親指でしっかりと押さえながら、針の真ん中を合わせる。
- 2 針先を糸を巻く。
- 3 針先を糸を巻く。

縫いはじめから縫い終わり

針に糸を通す

通しやすいよう、糸端はあらかじめカットしておく。糸の太さと針穴が合っているものを使用します。

- 1 針穴に針金部分を通す
- 2 糸端を通す
- 3 スライダーを引いて糸を通す

スライダーを使う

縫い始め

裏から針を刺し表に出す。後ろに戻って2度返し縫いしてから先へ刺し進む。

縫い終わり

- 1 縫い終わりまできたら縫い始めと同様に2度返し縫いをする
- 2 玉結び (P7) をし、糸を切る。

玉結び (P7)

2回返す

基本の縫い方

並縫い

布を縫い合わせるときに用いるもっとも基本的な縫い方。表と裏の縫い目の長さが均一になるように刺し進む。細かい針目で縫うことを「くし縫い」という。

断面図

本返し縫い

1 針ずつ返ししながら刺し進む縫い方。よりしっかりと縫い合わせたいときなどに用いる。表からの縫い目はミシン目のようになる。

断面図

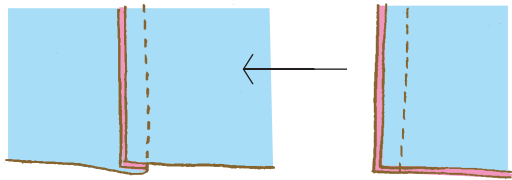
半返し縫い

1/2針返ししながら刺し進む縫い方。しっかりと縫いたいときや、伸縮性のある素材の縫い合わせに用いる。

断面図

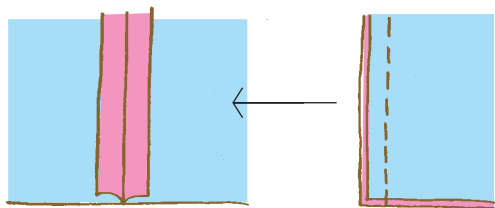
アイロンと布地の間に布を置いてアイロンする方が、布地を傷めません。
 高温.....麻
 中温.....木綿・毛
 ※設定温度を誤ると、焦がしたり、布地を低温.....絹
 高温.....化学繊維(ポリエステル・ナイロンなど)
 布地の種類によってアイロンの設定温度を調整します。
 きれいに仕上げるコツは、アイロンをこまめに使うことです。

アイロンについて



縫い代を片方に倒す

片倒しにする



縫い代を開く(倒る)

縫い代を開る



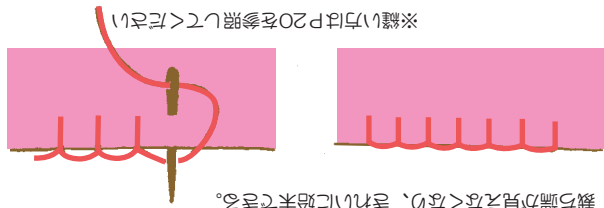
キザキザ



波形

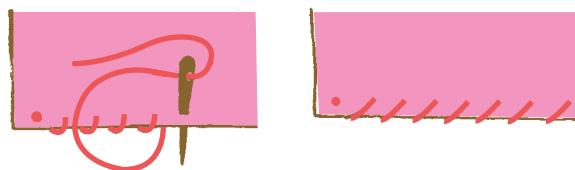
ペンキツカハサミ

ハサミで切るだけの簡単な方法。刃の形はいくつかある。



糸が渡りしなから縫うので縫い端が見えなくなり、きれいに始末できる。
 ※縫い方はP20を参照してください

フロンツツスツツ



巻くようにかがっていき、ほつれにくくなる。

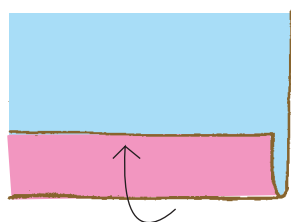
かかひ縫い

裁ち端と縫い代の始末



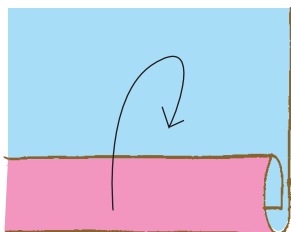
縫い代を折る

二つ折り



1回折る折り方

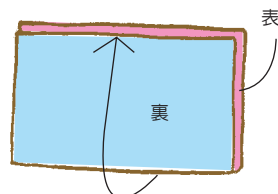
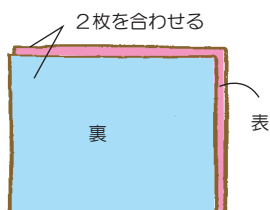
三つ折り



2回折る折り方

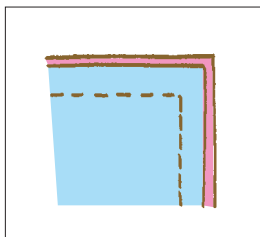
中表に合わせる

中表に二つ折りする



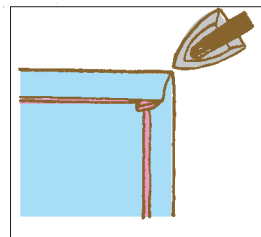
角部分をきれいに表に戻すには

1



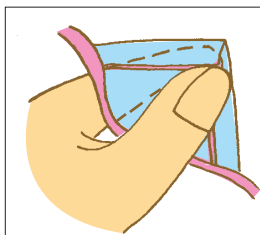
中表に縫ったところ

2



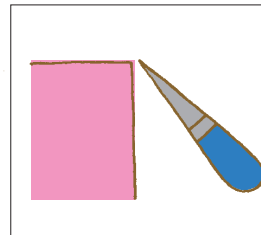
縫い代をアイロンできれいに折る。

3



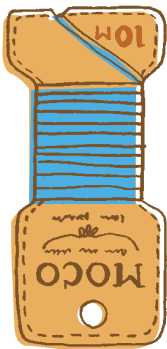
返し口から手を入れて角内側に人差し指、外側に親指でしっかりと挟み、角を押さえながら表に戻す。

4



目打ちで角を整える。

ふくら、モコモコした質感が
かわいい手縫いスチッチ糸です。
ポリエステル100%で光沢のな
い日本どりのMOCO糸、スム
エな縫い心地でどんな素材にも
フィットします。単色40色+グラ
フーシヨカラ-20色の全60色
のおしゃれなカラ-バリエーショ
ンです。

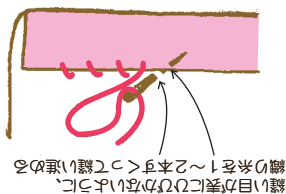


for hand stitch
MOCO

作品をよりかわいくスチッチに引き立てられる
やさしい飾りスチッチをご紹介します。
センス&オリジナリ-をフルして
あなただけの作品に仕上げてくださいね！

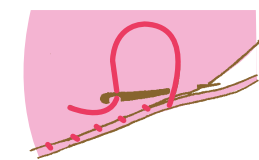


飾りスチッチ



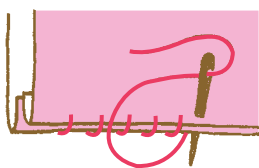
縫い目が表にひびかないように、
縫い糸を1~2本ずつこけて縫い進める

まごり縫い



この字を描くように折り返しを交互に
すゝいながら縫う方法。縫い目が
隠れて見えなくなるので、仕上げが
きれい。

コの字縫い



折り返しを合わせて縫うと、すゝい
縫い合わせの方法。縫い目が
隠れて見えなくなるので、縫い
糸を1~2本ずつこけて縫うと
きれいに仕上がります。

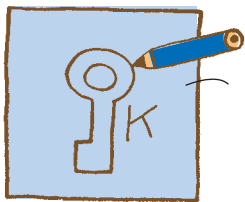
巻きかき

返し口をとじる・縫い代をまぐる



印をつける

1



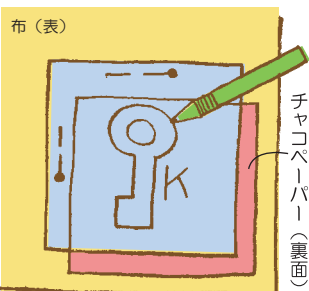
トレーシングペーパーに鉛筆などで
図案を写す

2



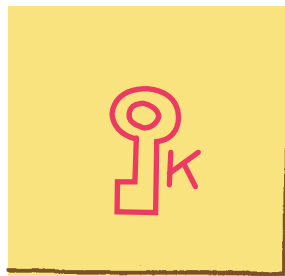
布の図案を写したい位置に
1を待ち針で留める。

3



布側を表に向きにしてチャコペーパーを
挟む。ペン先が尖ったもので図案どおり
になぞる

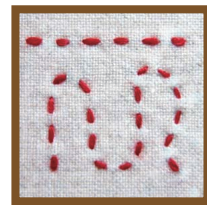
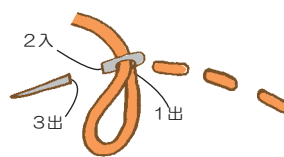
4



印しつけできあがり。布の色に合
わせて、何色が用意しておくとも
いい。水で印が消えるタイプがおす
め。

いろいろなステッチ

ランニング・ステッチ



「並縫い」と同じ要領で刺し進む。
縫い目を目立たせたり、線を描く
ときに用いる。

バック・ステッチ



おもに線を描くときに用いる。
刺し方は「本返し縫い」と同じ
要領で刺し進む。

クロス・ステッチ

飾りステッチとして用いるほか、広い面積をステッチで埋めて描く圖案などにも使われる。複雑な圖案も布の織り目や格子柄のマスを利用することで正確に美しく描くことができる。クロスステッチ用の布もある。

フライング・ステッチ

おもに縁どりのとして用いられます。フライングで縫い付けるときや幾ら端の始末としても

アウトライン・ステッチ

1本の線のようになるので、くっきりと輪郭を強調したいときに使います。2~3を繰り返す

ストリート・ステッチ

基本の刺し方

短い線になるように刺す

チェーン・ステッチ

太目の線を描いたり、広い面を埋めたりするときに使います。2~3を繰り返す

レザーデージー・ステッチ

花びらや葉っぱを表現するときに使います。

フレンチノット・ステッチ

玉止めよりもふんわりした点になる。模様やキャラクターの目などに使います。

サテン・ステッチ

面を埋めるときに使います。